年度	2027 年度
試験日	2026 年 10 月 3 日
学部・研究科	人間科学研究科
入試制度	修士課程 2 年制一般入学試験
試験科目	専門二次試験（臨床心理学研究領域）

出題意図 及び 解答例（解答のポイント）

【注意事項】

※公開する解答例には、別解がある場合があります。

※お問い合わせいただいた内容は本学で確認し、必要がある場合には、入学センターWeb サイトに掲載いたします。個別に回答することはいたしません。

※お問い合わせ先：早稲田大学入学センター nyusi@list.waseda.jp

■出題意図

【設問１】

大学院人間科学研究科修士課程において研究を進めるにあたり、基本的な研究計画とその解析法について、適切に理解しているかを評価するために出題した。本設問は、実験群と統制群を置いた心理学的実験において、その結果を検討するための基本的なデータ解析法である分散分析について、介入効果の有無を判断するためにはどの分析結果に注目すればよいかを、その理由とともに問うものである。

【設問２】

大学院人間科学研究科修士課程において必要な、データを客観的に読み取る能力について測定することを目的として出題した。本問は、国民生活基礎調査に示された K6 得点の年齢階級別の分布を適切に読み取り、わが国におけるメンタルヘルス上の課題を把握するとともに、それに対して公認心理師が果たしうる役割について、予防、早期発見・早期支援の観点から論理的に説明する力を問うものである。

■解答例（解答のポイント）

論述問題につき解答例は示せない。解答・評価のポイントは以下の通り。

【設問１】

・介入効果は、群と時期の交互作用に現れることと、その理由を適切に説明できているか。

・介入効果が示されることが、各群内で前後の平均値を結んだ 2 本のグラフが平行にならないことに相当することを、正しく説明できているか。

【設問２】

・K6 得点の年齢階級別の特徴を図から適切に読み取れているか。

・図から読み取った特徴を踏まえ、わが国のメンタルヘルス上の課題について説明できているか。

・公認心理師の役割について、心理的問題の予防、早期発見・早期支援、必要に応じた心理支援や他職種・関係機関との連携等の観点から説明できているか。

・図から読み取れる社会的課題と公認心理師の役割とを関連づけ、全体として論理的に記述できているか。